

AGU NEWS

AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY NEWS



2014 No.73

AGUニュース第73号 [2014年8月~10月号]

青山学院大学

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
URL: <http://www.aoyama.ac.jp/>

特集 青山学院大学のキャリア・サポート

一人ひとりが納得できる
就職活動を行えるように
手厚い就職支援環境を
整えています。

TOPICS 2014年度オープンキャンパス・青学フェア開催日程

文学部比較芸術学科の授業で、中村橋之助氏が特別講義
青山学院創立140周年記念行事「日本舞踊国際交流大会」を開催
2014年度ペアレンツウィークエンド(父母懇談会)のお知らせ

AGU Lecture 経済政策論・公共選択論



大学開設65周年

青山学院の先人たちの
名を冠した建築・施設

間島記念館(青山キャンパス): 間島弟彦 (1871年~1928年)

卒業後に三井銀行(現三井住友銀行)に入社し、47歳で取締役就任した間島。関東大震災で青山学院の校舎が多くの被害を受けた後、かねての希望どおり「母校に立派な図書館を建設したい」と寄付を申し出ましたが、病に倒れ実現はできませんでした。その志は妻・愛子に受け継がれ、後に「間島記念図書館」として成し遂げられました。1977年に現在の大学図書館が完成した後は「間島記念館」として、正門から連なるいちよう並木の先にそびえ立つ堂々たる意匠が、青山学院のシンボルとなっています。2008年3月に国登録有形文化財に登録されました。

一人ひとりが納得できる就職活動を行えるように手厚い就職支援環境を整えています。

就職支援の現状と今後の取り組み

懸田 豊 就職部長(総合文化政策学部教授)

2016年3月卒業予定者に対する企業の採用選考の広報活動の開始が3年次の3月1日以降、選考活動は4年次の8月1日以降に変更されることになりました。これは、正常な学校教育と学習環境の確保、大学等の学事日程の尊重を目的としたものです。学生の就職活動はこの期間に本格化することとなりますが、それまでに勉学を中心としてどのような学生生活を送ってきたかがより問われるようになって考えています。

本学では、学生一人ひとりが納得できる将来の選択ができるよう、豊富な就職支援行事、手厚い個別相談、的確な情報提供環境を

備え、学生と企業等を適切にマッチングさせることを重点においた就職支援を行っています。

まず、就職支援行事としては、各学年を対象とした各種講習会や学内企業説明会などを毎年多数開催しています。いわゆる「就活」と言われる3・4年次の本格的な就職活動の支援だけでなく、1・2年次の早い時期から自らの将来の進路を考え、職業観や勤労観を醸成する機会を設けることが狙いです。1・2年次には、将来の職業選択への関心を高めるための「進路・就職オリエンテーション」や「キャリア・デザイン講座」、企業や職業の具体的な理解を深めるための「OB・OGによる業界研究」や「公務員ガイダンス」などを開催しています。また、3年次には就職状況や具体的な就職活動の進め方について理解を深める「進路・就職ガイダンス」や卒業生による「仕

事理解セミナー」などにより、的確な職業選択を支援します。さらに4年次には、個別相談を中心に、「面接対策講座」や「学内企業説明会」なども実施しています。

次に、個別相談ではキャリアカウンセラーを中心に、就職活動の具体的な進め方や進路に関する悩みに対するアドバイスに加え、エントリーシートの添削なども行っています。青山・相模原の両キャンパスにはそれぞれ常駐の専任職員を配置し、きめ細かな指導をしています。

そして、的確な情報提供を行うために、本学独自の就職情報サイト「Web Ash(進路就職支援システム)」を運用しています。「Web Ash」では、本学に送られてきた求人票や企業別の卒業生の検索、会社説明会の案内、進路・就職センターが開催する各種行事の案

内といったさまざまな情報を、全学生がインターネットを介して自由に閲覧できます。また、Webテストなどもインターネット上で行えるほか、登録した卒業生にも開放し、求人票を検索できるようになっています。

本学卒業生の進路決定率や就職者率は、文部科学省や厚生労働省の調査結果を大きく上回る数字で推移しています。学生たちの能力と努力の結果であることはもちろんですが、校友会の皆様にもご協力いただいている「しゃべり場」「模擬面接会」などの支援行事が充実していることも理由の一つと考えています。

2013年度の就学キャンパスの再配置以降の、各キャンパスの学問領域や特性に合わせた4年一貫の就職支援体制を強化するための取り組みを、今後もさらに進めていきたいと考えています。

青山キャンパスでのサポートの特徴

キャリアカウンセラーやOBによる支援、毎週、毎月のイベント等多方面からバックアップします。

進路・就職センター 天野 里美

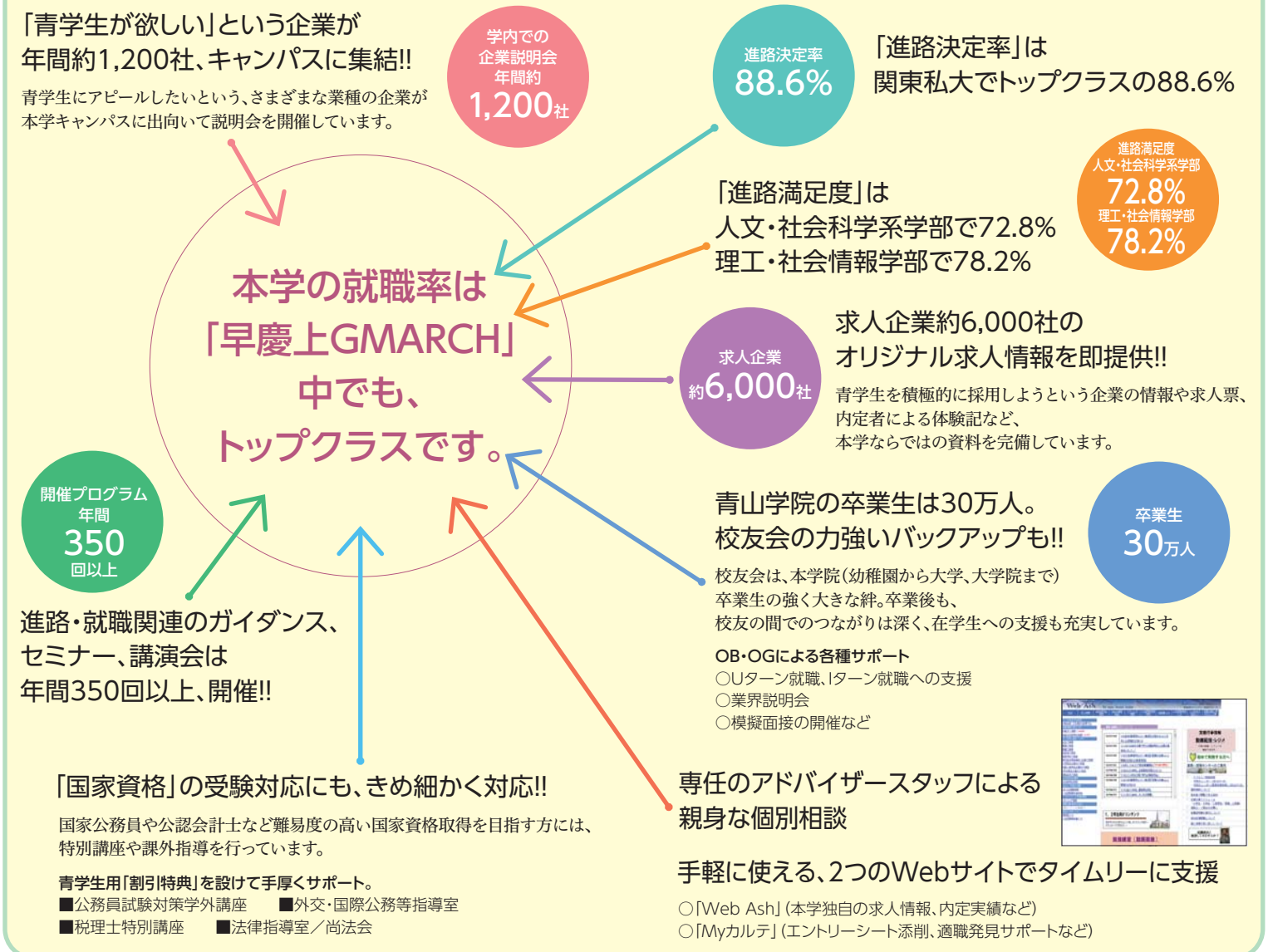
青山キャンパスでは、ガイダンスや面接対策講座をはじめ、校友会支援行事、OB・OGによる業界研究会、模擬面接会といった就職支援行事を、年間を通して数多く行っています。中でも、進路・就職センターに常駐しているキャリアカウンセラーによるミニ講座は、就活のプロによる青山キャンパスだけのガイダンス。“学生が今いちばん知りたい内容”をテーマに週数回、ほぼ毎月開講しています。3年生がインターンシップを控えた時期には60名を超える学生が集まりました。その他、低学年から参加できる行事や留学生向けのガイダンス、保護者向けの講演や相談会など、各対象者に合わせた支援を行っています。

卒業生によるバックアップも本学の大きな特徴です。「しゃべり場」というイベントで、後輩のために業界ごとの仕事の楽しさや体験談を語ってくださる卒業生の惜しみない支援には、人や社会に貢献するという、青山学院のスクール・モットー「地の塩、世の光」が息づいていると感じます。同様に、就活が終了した在学生も「就活学生ボランティア」という支援活動を通して、後輩をサポートしています。

また、企業説明会や面接の直前・合間に立ち寄りやすい便利な立地は、青山キャンパスの大きな強み。とにかく一人でもがんばらなければと思うずに、進路・就職センターを利用していただきたい。1～4年生まで同一キャンパスで学んでいるので、今後は1年生から参加できる行事を増やし、3年次には自然に進路・就職センターを訪れるようになる仕組みを考えていきたいと思います。



多くの企業から注目を集める青学生。毎年高い就職率を挙げています。



相模原キャンパスでのサポートの特徴

選択肢を最大限に広げ、“共に考える”支援を行っています。

進路・就職課 山崎 悠太

相模原キャンパスでは、従来より研究室、ゼミを拠点とした先輩・後輩のつながりの強さがあり、2013年度から、就職活動を終えた4年生や大学院生が後輩への協力支援を行う「キャリアチューター制度」を設けました。経験談に基づく生の情報が得られるので、利用率はかなり高いです。また、各学科に企業との打ち合わせや学校推薦制度に関する情報の取りまとめを担う「就職担当委員」があり、集まった情報を学生に紹介しています。もちろん、把握した企業情報はすべて進路・就職課に集まるので、Web Ash(進路就職支援システム)でも確認できます。

現在、より多くの企業が力を入れているのがインターンシップです。そこで、2014年度はガイダンスだけでなく、エントリーシート、グループディスカッション、マナー、面接への対策に加え、インターンシップ関連の行事を大幅に増やしました。目標意識を持って臨む学生が多い印象を受けます。製造業や情報系の企業が職種を分けて採用する傾向に対応し、職種研究の講座も多く実施しています。さらには就職活動中の学生に限らず、4年間を通して就業意識を高めていく「大学生のための社会科」シリーズにて企業・工場見学会を実施するほか、保護者向けの説明会も新たに始めています。

当課で最も重視しているのは、相談に訪れた各学生との会話。対話を重ねることで本人が気づいていない部分を探し出し、選択肢を最大限に広げたとうえで共に考える、そんな支援を続けています。ぜひ気軽に相談にいらしてください。



就職内定者の就職レポート



文 系

自力でがんばるだけでは気づかないこともあります。
後輩たちにも進路・就職センターを活用してほしい。



渡邊 優磨さん
経済学部経済学科4年
千葉県立磯辺高等学校出身
内定先：株式会社東芝

幼い頃から水泳一筋で、大学でも水泳部で競技に打ち込み、就職活動を始めたのは部活動引退後の3年生の12月。具体的に何をしたらよいかわからず、まずは自己分析から始めました。水泳はタイムを競うスポーツ。売り上げという数値で戦うところに競技と通じるものを感じ、営業職を目指そうと考えました。企業情報はインターネットやWeb Ashなどで自ら収集し、大学主催の合同企業説明会への参加やOB訪問なども行いましたが、自力で突破できたのは二次面接まで。企業の最終面接を前に「もう失敗はできない」と思い、自分ができていないことは何かを知るために進路・就職センターに相談しました。

そこで「営業をやりたい」と言うのは、「どの企業でもよい」と言っているのと同じ。最終面接では「なぜその会社を志望したのか」を伝えることが重要」とアドバイスされました。改めて考えると、以前水泳のW杯に出場した際、開発途上国の選手との交流を通してイン

フラの重要性を感じ、「大手電機メーカーの中でもインフラに強いこの会社で働きたい」と思ったことがきっかけだったと気づきました。志望理由が明確になったことで、思いを伝えることができ、内定をいただくことができました。就職活動を振り返ると、進路・就職センターのサポートをもっと早期から利用すればよかったと思います。後輩たちには積極的に活用してもらいたいですね。

【ある日のタイムスケジュール】

6:00	起床 移動
8:00～	神奈川県・川崎にて企業説明会 移動
11:00～	東京都・浜松町にて OB・OGによるセミナー 移動
	青山キャンパスで昼食
13:10～	3限授業
14:40～	進路・就職センターにてOB・OGの エントリーシート情報をチェック 移動
18:00～	神奈川県・鶴見にて企業セミナー



理 系

思い込みを取り払い、幅広い企業を見ることも大切。
進路・就職課の適切なアドバイスで面接も突破できました。



川上 美月さん
理工学部経営システム工学科4年
神奈川県立厚木高等学校出身
内定先：株式会社野村総合研究所

情報システムと経営の両方を学んできたため、最初はあまり業種を絞らず就職活動に臨みました。3年生の夏休みにインターンシップに参加し、実際の現場を体験したのですが、自分が抱いていた業界のイメージとの違いを実感し、企業研究と自己分析の重要性を感じました。大学主催の合同企業説明会にも参加してさまざまな企業の方のお話を伺うなどして、最終的に金融とITに業種を絞りました。

私は人と関わる仕事がしたくて、窓口での接客のイメージが強い銀行を最初は志望していました。逆にシステムエンジニアはほとんどパソコンに向かってる仕事だと思っていたのですが、実際はお客様との対話を重ね、システムを考えることが重要な仕事だと知り、これこそ自分が希望する“人と関わる仕事”だと考えるようになったのです。

就職活動中、わからないことはまず進路・就職課に相談に行き、エントリーシートも添

削していただきました。苦手な面接も「自分が言いたいことよりも相手が聞きたいことを考え、わかりやすい言葉で話すこと。誰もが知っている情報からさらに一歩踏み込んでアピールすれば、熱意が伝わるはず」とアドバイスをいただき、このアドバイスが内定に結びつく要因になったと思います。

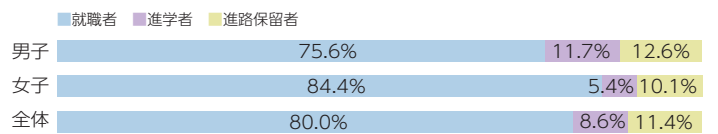
卒業後は、お客様のニーズを汲み取ってシステムに反映できるエンジニアになりたいと考えています。

【ある日のタイムスケジュール】

9:30～10:30	金融系企業の面接 移動
11:15～11:45	IT系企業Aの面接 移動
13:00～14:00	IT系企業Bの グループディスカッション 移動
16:00～18:00	IT系企業Cの最終面接 帰宅・翌日の準備

2013年度 卒業生の進路・就職状況

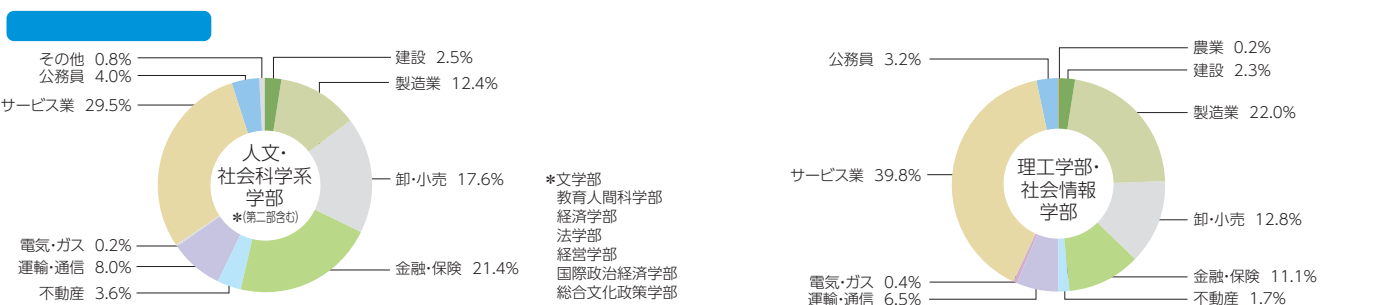
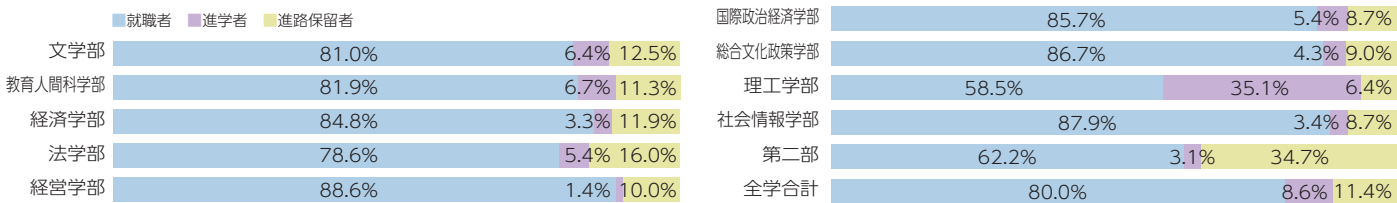
	男子	女子	全体
2014年3月学部卒業生	2024名	2010名	4034名
進路決定者	1767名	1806名	3573名
就職者	1530名	1697名	3227名
進学者	237名	109名	346名
進路保留者	256名	203名	459名
進路届未提出者	1名	1名	2名



・「進路決定者」は「就職者」と「進学者」の合計
・「就職者」は新規採用決定者、自営業者、現職継続者、臨時雇用者の合計
・「進学者」は本学大学院、国内他大学・大学院、海外大学・大学院、専門学校へ進学した学生の合計
・「進路保留者」は進学・留学準備者、各種試験準備者、ボランティア・主婦(主夫)、就職活動継続者などの合計

第二部は文・経済・経営(いずれも募集停止)の合計

	文学部	教育人間科学部	経済学部	法学部	経営学部	国際政治経済学部	総合文化政策学部	理工学部	社会情報学部	第二部	全学合計
2014年3月学部卒業生	801名	326名	487名	443名	571名	335名	233名	533名	207名	98名	4,034名
進路決定者	700名	289名	429名	372名	514名	305名	212名	499名	189名	64名	3,573名
就職者	649名	267名	413名	348名	506名	287名	202名	312名	182名	61名	3,227名
進学者	51名	22名	16名	24名	8名	18名	10名	187名	7名	3名	346名
進路保留者	100名	37名	58名	71名	57名	29名	21名	34名	18名	34名	459名
進路届未提出者	1名	0名	0名	0名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	2名



文科系学部・研究科

三菱東京UFJ銀行	三菱UFJモルガン・スタンレー証券
三井住友銀行	大和証券グループ
みずほフィナンシャルグループ	野村證券
全日本空輸	あいおいニッセイ同和損害保険
りそなグループ	SMBC日興証券

幼稚園／17名(私立17名)
小学校／26名(公立24名、私立2名)
中学校／13名(公立12名、私立1名)
高等学校／19名(公立9名、私立10名)

理系学部・研究科 (博士前期課程)

日本電気	トヨタ自動車
日産自動車	JR東日本
日立システムズ	NTTコムウェア
三菱電機	凸版印刷
JR東海	本田技研工業

国家公務員／22名(外務省、厚生労働省、国土交通省、農林水産省、防衛省ほか)
地方公務員／98名 都 道 府 県：東京都、神奈川県、埼玉県、長野県、山梨県、新潟県、福岡県
東 京 特 別 区：板橋区、大田区、北区、品川区、渋谷区、新宿区、世田谷区、練馬区
市 町 村：相模原市、八王子市、町田市、鎌倉市、平塚市、横浜市ほか
警察官・消防官：東京消防庁、警視庁、神奈川県警察、千葉県警察、三重県警察ほか

進路就職活動の成果についての満足度を5段階(満足・ほぼ満足・普通・やや不満・不満)で調査したところ、青山キャンパス(人文・社会科学系学部)に通う学生の72.8%が「満足・ほぼ満足」と回答。また、進路・就職センターの利用率は全体で71.9%で、特に就職ガイダンス、個別相談、就職支援システム(Web Ash)、セミナー等学内行事の利用率が、どの学部でも高いことが目立ちました。支援体制の満足度(5段階評価で「満足・ほぼ満足」と回答)はセンター利用者全体の61.9%で、支援活動利用と進路満足度との関係では、利用者の方が全体よりも高い(利用者:74.1%、全体:72.8%)ことがわかりました。

一方、相模原キャンパス(理工・社会情報学部)では、78.2%の学生が自身の進路について「満足・ほぼ満足」と回答。進路就職支援部署の利用率は全体で68.8%(相模原キャンパス進路・就職課:63.8%、青山キャンパス進路・就職センター:1.7%、両方とも:3.3%)で、特にES添削、模擬面接などを含む進路・就職に関する個別相談の利用が多く見られました。支援体制に対する満足度は68.2%で、進路就職支援部署を利用した学生の進路満足度は、利用しなかった学生よりも高く(利用者:82.3%、非利用者:69.4%)、進路就職支援部署の利用と進路満足度の相関関係がうかがえる結果となりました。

「大学案内2015」をウェブサイトで公開中

大学紹介・学部学科紹介を記載したパンフレット「大学案内2015」を本学ウェブサイトで開催しています。下記のアドレスにてご覧いただけます。
<http://www.aoyama.ac.jp/outline/reference.html>



Rikejo♡青学(理系女子対象イベント)・青学フェア(さいたま)・大学院説明会開催報告

6月14日(土)、相模原キャンパスにおいて、理工系分野に興味のある女子中高生と保護者を対象としたイベント「Rikejo♡青学」を開催しました。イベントでは、理工学部、社会情報学部の学部紹介や模擬授業、理工学部各学科の紹介および研究室ツアー、社会情報学部の在学生の研究紹介やゼミ体験など、参加者の興味に合わせた企画が開催され、最後のRikejoカフェでは、イベント終了時間まで先輩Rikejoのキャンパスライフの話を中心に聞いたり、質問したりする参加者が多く見られました。

また、大学紹介イベントとして「青学フェア」を6月29日(日)にTOIRO(さいたまスーパーアリーナ内)で実施しました。いずれのイベントも来場者から、「在学生から大学生活について聞くことができた」と好評を得ました。9月14日(日)にはつくば会場としてつくば国際

会議場で開催する予定です。

大学院説明会は、7月19日(土)青山キャンパスにて開催しました。説明会では、各研究科・専攻の紹介や教員による個別進学相談、在学生との懇談会などを実施しました。



Rikejo♡青学(6/14 相模原キャンパス)



2014年度オープンキャンパス・青学フェア(つくば)開催日程

高校生・受験生を対象とした以下のイベントを開催します。オープンキャンパスについては、本学ウェブサイトから事前の申込をお願いいたします。

開催日	キャンパス	文学部	教育人間科学部	経済学部	法学部	経営学部	国際政治経済学部	総合文化政策学部	理工学部	社会情報学部	地球社会共生学部 (2015年4月開設) (届出中)
8月20日(水)	青山	○	○	○	○			○			○
8月21日(木)	青山	○		○		○	○	○		○	○
8月22日(金)	青山		○		○	○	○		○		○

※相模原キャンパスでのオープンキャンパスは、7月27日(日)に終了しました。
 ☆地球社会共生学部は、2015年4月、相模原キャンパスに開設します(届出中)。詳細は本学ウェブサイトでご確認ください。



オープンキャンパス(青山キャンパス)

日時: 9月14日(日) 11:00~16:00(予定) **開催場所:** つくば国際会議場(つくばエクスプレス つくば駅・徒歩10分)

問い合わせ先: 入学広報部入学広報課 TEL.03-3409-8627 ※各イベントの企画内容は変更となる場合があります。 **詳細は本学ウェブサイトをご確認ください。**

相模原祭開催のお知らせ



2014年度相模原祭は10月11日(土)、12日(日)の開催となります。今年で相模原祭も12回目を迎え、多くの方のご支援のもと、より一層磨きのかかった相模原祭を開催いたします。

今年度は「つながり」をコンセプトに、来場者の皆様や参加していただく学生の方など、相模原祭に関係するすべての人が一丸となり、相模原祭を創り上げていきたいと考えております。

人と人とのつながりを感じることでできる企画をたくさんご用意して多くの皆様のご来場を心からお待ちしております。

相模原祭準備会実行委員長:理工学部経営システム工学科2年 八木 悠太郎 記



神奈川大学との対校討論会



ゼミでの授業風景

AGU Lecture 072



経済政策論・公共選択論

中村 まづる

経済学部経済学科 教授

日本の経済はどうしたらよい方向に向かうのか、経済問題の処方箋を理論的に考える「経済政策論」と、経済学の理論をベースにさまざまな社会科学の分野に応用して利害関係を調整し、実際に理想の政策が行えるかどうかにもまで踏み込む「公共選択論」が私の研究テーマです。ミクロ経済学やマクロ経済学が経済理論の最も根幹となる学問であるのに対し、「公共選択論」は、第二次世界大戦後に登場し、この30~40年の間に急速に発展してきた最先端の分野です。経済学だけでは答えが出ない問題を、政治や法律など複数の学問分野へと発展させて捉え、社会科学をベースに社会全体を考えていく学問です。例えば、低迷した現在の経済を打開するために安倍総理が打ち出した“アベノミクス”について、どのような大胆な政策があるのか、どうやって現状を克服していくのかを考察するのです。

学習スタイルとしては、経済政策論では講義を、公共選択論ではゼミナール(ゼミ)を展開しています。まずは1、2年生の教科書に載っているオーソドックスな経済理論をベースに、世の中で起きていることを理解し、論理的に説明できるようになることを目指します。そして3、4年生のゼミでは、自らの考えを発表する力を身に付けていきます。その一環として、毎年6月には神奈川大学との「対校討論

会」でゼミ生がチームを組んでディベートを行い、各自の得意分野を見極めます。その後、さらにスキルを高め、新たなチームを編成して11月に行われる公共選択学会主催の「学生の集い」に挑みます。「学生の集い」は、学会から提示されるテーマに対し、論理的に正しい政策を提言することを各大学が競うもので、これに参加したいがために私のゼミを希望する学生も少なくありません。本学のプレゼンテーションのレベルはかなり高く、これまでも最優秀賞、優秀賞など多くの入賞経験があります。そのためか、近年は他大学からもよく研究されていると実感しています。

読みやすい論文の作成やパワーポイントによるわかりやすい発表、堂々としたプレゼンテーションなど、学生にはそれぞれ得意分野があります。他人を蹴落とすのではなく、まずは自分の持ち味を自覚してほしいと考えています。また、知ったかぶりをするのは新しい知識を得るチャンスを逃してしまうことになるので、他者からの意見や指摘に素直に耳を傾けることも重要です。それらをきちんと受け止められれば、学生たちは大きく成長するはずなのです。現職にある日本経済政策学会会長としても、経済政策論を通じて彼らの潜在能力を引き出し、生かすためのサポートをしたいと考えています。



中村ゼミ学生

韓 思維(カン シイ)さん
経済学部 経済学科4年
中国・大連商業学校出身

アジアで最も発展している日本で学びたいと考え、留学しました。青学を志望したのは、日本語学校で半年、専門学校で1年間学んでいた際に、中村まづる先生の授業がとても面白いという評判を耳にしたからです。最初のゼミ合宿では、先輩方から経済学に必要なパソコンやディベートのスキルを徹底的にたたき込まれ、そこでゼミに対する覚悟のようなものが備わったと思います。また、互いを理解し合い、チームメイトとして団結することができたことで、その後のゼミ活動はとてもスムーズになりました。当初は「なんとかなるだろう」という気持ちで臨んでいましたが、発表を重ねていくうちに「これで本当にベストを尽くしたのだろうか」という厳しい見方に変わり、指導してくださった先生や先輩方に応えられるようになりたいと、さらなるレベルアップを目指すようになりました。

そして、ゼミ活動の中で「学生の集い」に参加し、日本経済を再生するための政策提言を行いました。この活動を通して、自分自身の問題点を把握し、人間関係についても学べたことはとても大きな収穫でした。そこでの経験を生かして就職活動の面接でも自信を持ってアピールすることができ、志望していた企業から内定をいただきました。今後社会に出てからも、先生から教えていただいたことを生かして、自ら考えて新しいことに挑み、中国市場の開拓を目標にがんばっていきたいと思います。

文学部比較芸術学科の授業で、中村橋之助氏による特別講義を行いました

文学部比較芸術学科1年生対象の「比較芸術学入門A」の授業において、歌舞伎俳優の中村橋之助氏をお招きし、特別講義を行いました。比較芸術学科では「五感を総動員して芸術を学ぶ」というモットーのもと、理論の学習や資料読解のほかに、芸術の鑑賞体験も重視しています。このたび、6月の国立劇場での歌舞伎鑑賞教室『ざいさんばあさん』を1年生全員が観劇するのに合わせて、同公演で主演される橋之助氏にお話をうかがう機会を得たものです。同公演には橋之助氏の兄中村福助氏の長男優太さん(中村児太郎)、橋之助氏の長男国生さんも出演するため、本学科の学生である二人も交えてのお話となりました。

舞台への初お目見えから、青山学院の初等部時代の先生とのエピソードなど、温かなお人柄そのままのお話が始めると、教室を埋め尽くした学生一同は瞬間に橋之助氏の歌舞伎に対する愛情と情熱に引き込まれました。舞台写真に基づき歌舞伎の化粧、扮装、役柄などについてのわかりやすい解説や、実際に舞台上で使う柄(拍子木)のことなど、歌舞伎の魅力がさまざまに展開されました。橋之助氏の打つ柄の音色には実際に劇場にいるかのような臨場感を覚えました。さらに、『白浪五人男』の有名なせりふを橋之助氏が学生一同とともに朗読、見得の実演と学生への指導など、学生にとって歌舞伎のせりふ回しや身体動きを体感する忘れがたい経験となりました。



した。「歌舞伎は時代に合わせて変化し現在まで受け継がれてきた」との橋之助氏の言葉に一同はいっそう歌舞伎への興味を強くし、鳴り止まない拍手の中で授業が終了しました。

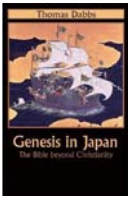
2014年5月29日(木)
青山キャンパス11号館1135教室にて
(文学部比較芸術学科准教授 佐藤 かつら 記)

文学部英米文学科ダブス教授が、外国特派員協会で講演

2014年4月14日(月)、文学部英米文学科のトマス・ダブス教授が、外国特派員協会の招きで、昨秋出版された新著『日本の創世記』(Genesis in Japan)について講演と朗読を行いました。『日本の創世記』は、ダブス教授が担当する英米文学科の「英語聖書」の授業体験が元になっています。英米文学に生きる聖書の物語や



伝統を学生に学んでもらうのが目的の科目ですが、この授業において学生たちは、キリスト教の教えとは全く異なる、時には驚くほど暴力的な古代の物語にも触れることになります。また「原罪」の概念を知らない学生たちからは「罪ってなんですか?」という素朴で純粋な質問も出されます。「英語聖書」の授業は、学生たちにとっては、異文化の精神の根源を探る旅でもあります。このような学生たちの、異文化の精神との出会いは、外国特派員協会での講演と朗読でも大



きな関心を引きました。映画化された小説『セリーナ』の著者ロン・ラッシュは『日本の創世記』を「信仰と懐疑の複雑さ」を掘り下げて考えるすぐれた書である、と批評しています。キリスト教信仰を基礎に世界の文化に開かれた本学において、単なる異文化交流のスキルではなく、外国文化の意識の根源に触れる体験がなされていることが、日々異文化と出会う特派員の方々の共感を呼んだのでしょう。

青山学院創立140周年記念行事「日本舞踊国際交流大会」を開催

2014年6月22日(日)、青山学院創立140周年記念行事として、「日本舞踊国際交流大会」を、ガウチャー記念礼拝堂において開催しました。今年で9回目を数える本舞踊大会は、駐日



第2位に選ばれたコリヤさん(左から2番目)

外国人、留学生、日本の学生に日本舞踊の稽古、発表を通して日本の伝統文化への興味を増進させ、文化による国際理解力の向上を目的とし、NPO法人日本舞踊芸術文化協会(JAPA)が主催しています。当日は時折小雨のぱらつく曇り空にもかかわらず、最終的に416名が来場されました。

野崎正史JAPA理事長、葵七皆菜流家元ご夫妻(本学卒業生)、青山学院山北宣久前院長など6名の審査委員や多数の来場者が見つめる中、外国人留学生たちの舞台が始まりました。演目は、小曲「まりと殿様」、「京の四季」、端唄「梅にも春」の3曲で、出演者75名(過去最高)は、8人から9人のグループに分かれて、これらのいずれかの



曲を踊ります。本学のほか、上智大学、東京大学など国立・私立大学の留学生たちの、約3ヵ月間の厳しい稽古の成果が舞台の上で披露されます。鮮やかな浴衣姿で、腰をかがめ、扇を掲げてすり足で舞台上に登場する姿、手や脚の細かな動き、かすかなしぐさや表情など、とても短期間で習得したとは思えない演技をみせてくれる演者が多く、スタッフも観客もその素晴らしさに魅了されました。

学生たちの舞台の合間には、本学長岡同好会による三味線披露や、趣向を変えて、本学オルガニスト越川伊豆美氏によるパイプオルガン演奏が大会に華を添えました。すべての演者が演目披露を終え、決勝進出者が山北前院長より発表され、日本人2名を含む6名が決勝の舞台上に上がりました。優勝は竹井悠人さん(日本)となり、本学交換留学生カチュロフスカヤ・ユリヤさん(ロシア)が第2位に選ばれました。最後は出演者観客全員で東京音頭を踊り、華やかな舞台はお開きとなりました。

対東北学院大学総合定期戦報告

2014年5月31日(土)から6月2日(月)までの3日間にわたり、第65回対東北学院大学総合定期戦が本学を舞台に開催されました。初日はフェンシング、剣道の試合が青山キャンパスで行われ、相手の一瞬のスキを狙った緊張感ある攻防に目を見張りました。2日目は青山キャンパスでバレーボール(男・女)、柔道の試合が行われ、相模原キャンパスでは洋弓、緑が丘グラウンドではアメリカンフットボールの試合が行われまし

た。30℃を超える気温の中、熱戦が繰り広げられました。また、スポーツだけでなく、吹奏楽部の交歓会や応援団によるリーダー公開が行われ、総合定期戦を華やかに彩りました。総合成績は本学が16点、東北学院大学が22点と今大会は敗れてしまいました。来年は優勝杯を取り戻す決意をするとともに、65年という歴史ある総合定期戦が次世代にも引き継がれ、両校の絆と友情を一層深めていくことを願っています。



学生食堂にて「100円朝食」「ムスリムフレンドリーフード」を提供

2014年4月7日(月)から25日(金)の期間、本学学生食堂にて「100円朝食」の販売を行いました。青山キャンパスの17号館学生食堂では1日限定250食、相模原キャンパスのカフェテリアでは限定100食を準備し、学生からは大変好評で連日ほぼ完売となりました。この取り組みは本学の大学後援会が発案し、学生食堂を運営する株式会社アイビー・シー・エスと連携

して実現しました。「特に一人暮らしの学生の方に朝食をしっかり食べてもらいたい」という思いが込められています。また、学内グローバル化の一環として、イスラム教の作法に従って調理されたムスリムフレンドリーフードの提供も始まりました。現在は青山キャンパスのみで提供していますが、今後相模原キャンパスでの提供やメニューの拡充が検討されています。



Happy くらす作品コンクール 参加作品募集中!

現在、FD活動(Faculty Development 大学教育改善のための取り組み)として、「Happy くらす作品コンクール」を開催中です。本学での授業の思い出について、学生のみなさんに作品の形で表現していただき、他の学生たちや教職員と広くその思いを共有してほしいと思っています。みなさんの声を聞かせてください。

テーマ「心に残る授業」
青学生のみなさんの講義の思い出、心に響いたクラス、自分を変えた授業、目の覚めた講義、元気の出た授業など、講義を通して得た発見や感動、体験、成長などを作品にして応募してください。
応募ジャンル
次の3つのいずれかから選んでください。
散文部門：エッセーなど、文章で表現する作品。最大2000字。
韻文部門：詩、俳句、短歌、川柳など、短い韻文で表現された作品。
漫画部門：漫画(四コマ漫画、ストーリー漫画など)(最大A4サイズ

用紙10枚相当。ただし、提出原稿の用紙サイズは自由)。
※応募作品は未発表のものに限らせていただきます。また、応募作品は他者の権利(著作権、肖像権等)を侵害しないように十分な配慮をしてください。
応募方法
青山学院大学ホームページ
(http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/info/detail_08.html)から応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入した応募用紙と作品のファイルを添付のうえ、agufd@aoyamagakuin.jpあてにご提出ください。紙媒

体での提出を希望する場合には、以下の問い合わせ先に記載されている各キャンパス担当者に直接提出して下さっても結構です。
提出期間
2014年9月27日(土)必着
問い合わせ先
学務部教育支援課(青山キャンパス)
TEL.03-3409-4165
相模原事務部学務課 教育支援担当(相模原キャンパス)
TEL.042-759-6003

青山学院創立140周年記念行事 第3回「情報の探索と表現」コンテスト 作品募集!

青山学院大学図書館・青山学院女子短期大学図書館では、本学学生のレポート作成スキル、および情報検索技術の向上を目的として、第3回「情報の探索と表現」コンテストを実施します。本学図書館で利用可能なオンラインデータベース[AFP World Academic Archive(AFP WAA)]に収蔵されている画像コンテンツの中からテーマに即した画像を検索し、「朝日新聞記事データベース[聞蔵Ⅱ]」「ジャパナレッジlib」「日経BP記事検索サービス」を活用して、あなたの「オリジナルの記事」を作成してコンテストに応募してください。

応募テーマ
個人部門(日本語区分/英語区分)
グループ部門(日本語区分/英語区分)
「オリジナルの記事をつくらう! ~日本の知らない世界、世界の知らない日本~」
次のいずれかを選んで「オリジナルの記事」を作成してください。
●「日本ではあまり知られていないと思われる世界の出来事」を日本に向けて紹介する
●「世界にあまり知られていないと思われる日本の出来事」を世界に向けて紹介する
取り上げる出来事(話題)、時期は自由です。記事には写真(AFP配信の画像)を掲載してください。過去の写真や最新のニュースから抽出したものでかまいません。記事の分量は、個人部門はA4サイズ1枚、グループ部門はA4サイズ4枚です(タテヨコは自由)。文章は日本語または英語で作成してください。
英語見出し部門
「ニュースにオリジナルの英語見出しをつけよう!」

AFP WAA、聞蔵Ⅱ、日経BPからひとつの記事を選び、オリジナルの見出しを英語でつけてください。また、その記事を取り上げた理由について短い英文で説明してください。取り上げる話題、時期は自由です。記事には写真を掲載してください。A4サイズ1枚に写真と記事本文・見出し・理由説明(すべて英語)を記載してください。
応募資格
青山学院大学(大学院・科目履修を含む)および青山学院女子短期大学(専攻科・科目履修を含む)の学生(本学のメールアドレスを利用できること)
応募規定
「募集要項」で確認してください。
賞品
●iPad mini(AFP WAA提供)
●グーグル腕時計型端末(日経BP社提供)
●ロボット掃除機ルンバ(朝日新聞社提供)
●オリジナル作品集(富士ゼロックス提供)
●図書カード など多数

応募方法(作品提出方法)
作品と応募用紙を下記に提出してください。
●大学図書館本館1Fレファレンスカウンター
●万代記念図書館2Fレファレンスカウンター
●短大図書館カウンター
応募期間
2014年10月1日(水)開館時~10月24日(金)閉館時
問い合わせ先
青山学院大学図書館本館(青山キャンパス)
TEL.03-3409-7833
青山学院大学万代記念図書館(相模原キャンパス)
TEL.042-759-6027
青山学院女子短期大学図書館 TEL.03-3409-7103

応募の際は必ず「募集要項」をご確認ください。図書館各館で配布中。図書館HPからダウンロードできます。https://www.agulin.aoyama.ac.jp/ 本学学生は自宅等の学外からもAFP WAAなどの図書館契約データベースを利用できます。

夏期休業期間中の窓口案内 対象期間 8/5(火)～9/18(木)

- 8月6日(水)～8月12日(火)までは一斉休業期間として、すべての窓口を閉室します。
ただし、下記日時は追試験受付を行います(専門職大学院開講科目は除く)。
・青山キャンパス学務部教務課:8月5日(火)13:00～19:00
・相模原キャンパス相模原事務部学務課:8月5日(火)9:00～11:30
- 8月中の水曜日(8月13日、27日)は閉室します。 ※相模原キャンパスは20日(水)も閉室
なお、この日程以外にも、部署により閉室する場合がありますので、本学ウェブサイトでご確認ください。
- 特別の場合を除き、土・日・祝日は閉室します。9月19日(金)より平常通り開室します。

夏期休業期間中の
窓口案内の詳細は

本学
ウェブサイト
をご覧ください。

2014年度 ペアレンツウィークエンド(父母懇談会)

青山学院大学では、大学後援会事業の一環として、在学生の保護者の皆様に大学の近況や学生の皆さんの成績・進路・就職などのご相談やご意見をお伺いするために、経験豊かな大学教職員が協力して説明会や個別面談を通して保護者の皆様により一層大学のことを知っていただくイベントを開催しています。

キャンパス開催実施状況報告

1、3年生の保護者の皆様を対象としたペアレンツウィークエンドは、5月24日～7月5日の土曜に各キャンパスで開催しました。多くの方々にご参加いただき、ありがとうございました。学業・就職説明会では、各担当職員が詳細にご説明し、さらにご質問がある方は個別相談にご参加いただきました。1年生対象のキャンパス見学会では、パイプオルガンコンサート、ボランティア学生によるキャンパスツアーも盛況で、保護者の皆様もご満足いただけたようです。



学生生活部窓口相談



学業説明会



学業個別面談

地区別開催日程

引き続き7～8月には右記の地区での開催を予定しております(一部実施済み)。参加のお申込みは5月にお届けしたご案内に同封のリーフレット、もしくは本学ウェブサイトをご確認ください。皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

開催内容

- 受付(DVDによる学校紹介)
 - 全体説明会
 - 昼食会(立食)
 - 個別面談(希望者のみ)
- 会場により、開催順序・内容が異なります。
最新情報は本学ウェブサイトでご確認ください。

問い合わせ先: 庶務部庶務課 ペアレンツウィークエンド 担当
TEL. 03-3409-8568

<http://www.aoyama.ac.jp/life/parents/parentsweekend/>
※夏期休業期間中の事務取扱いは本学ウェブサイトでご確認ください。
※開催当日、台風等により開催が危ぶまれる場合は、各会場へ事前にご確認ください。

キャンパス開催参加者数

開催内容	開催日	参加者
相模原キャンパス見学会	5月24日(土)	356
就職説明会(青山キャンパス)	5月24日(土)	241
就職説明会(青山キャンパス)	5月31日(土)	391
就職説明会(青山キャンパス)	6月7日(土)	349
学業説明会(国際政治経済学部)	6月14日(土)	51
学業説明会(教育人間科学部)	6月14日(土)	41
学業説明会(文学部)	6月14日(土)	97
学業説明会(法学部)	6月21日(土)	103
学業説明会(経済学部)	6月21日(土)	90
学業説明会(経営学部)	6月28日(土)	110
学業説明会(総合文化政策学部)	6月28日(土)	72
学業説明会(理工学部)	6月28日(土)	268
学業説明会(社会情報学部)	6月28日(土)	44
就職説明会(相模原キャンパス)	6月28日(土)	365
青山キャンパス見学会	7月5日(土)	724

地区別開催日程・会場一覧

☐ は実施済み

地域区分	対象都市	開催日	会場名
北海道	札幌	7月20日(日)	ニューオータニイン札幌
青森	青森	7月13日(日)	青森国際ホテル
福島	郡山	7月21日(月祝)	郡山ビューホテルアネックス
宮城	仙台	8月23日(土)	仙台国際ホテル
茨城	水戸	8月30日(土)	三の丸ホテル
新潟	新潟	7月19日(土)	新潟グランドホテル
長野	長野	8月23日(土)	ホテルメトロポリタン長野
福井	福井	7月27日(日)	ホテルフジタ福井
石川	金沢	7月19日(土)	ANAクラウンプラザホテル金沢
愛知	名古屋	7月27日(日)	キャッスルプラザ
静岡	浜松	7月6日(日)	オークラアクティホテル浜松
広島	広島	7月13日(日)	リーガロイヤルホテル広島
大阪	大阪	7月6日(日)	ホテルグランヴィア大阪
鳥取	米子	8月30日(土)	米子全日空ホテル
香川	高松	7月13日(日)	JRホテルクレメント高松
福岡	福岡	8月3日(日)	ニューオータニ博多
長崎	長崎	7月21日(月祝)	ANAクラウンプラザホテル長崎グラバービル
鹿児島	鹿児島	8月31日(日)	城山観光ホテル

お住まい近くの会場に限らず、どの会場にもご出席いただけます。

大学学費 後期納付のご案内(学部) ※大学院の学費納付については、大学院要覧を参照してください。

【納付期限】 9月30日(火)

1) 振込依頼書について

- a. 2013年度以前入学者
4月中旬にお送りした学費振込依頼書の[B後期分]をご利用ください。
なお、教職・各種資格課程を申請した方は納入金額に変更が生じています。該当者には7月1日(火)に金額変更済みの振込依頼書を送付しました。
- b. 2014年度入学者
①入学手続時に前期分の学費を納入された方
7月1日(火)に後期分の学費振込依頼書を送付しました。教職・各種資格課程を申請した方には、後期学費に課程料を加算しています。
②入学手続時に前後期分の学費を一括納入された方
教職・各種資格課程を申請した場合、課程料の振込依頼書を7月1日(火)に送付しました。記載金額をお振り込みください。

2) 納付にあたって

入金確認のため、送付された学費振込依頼書を用いて、金融機関の窓口で納付してください。ただし、ATM・インターネットバンキングの利用を

4年次において留年した学生の後期分学費納付について

4年次で留年した場合、履修登録単位数によって学費が異なります。振込依頼書は10月14日(火)発送予定です。

【納付期限】 11月7日(金)

- 1) 前期分学費を所定の学費で納入した方
→後期の学費は、4年次所定の後期学費(後期授業料)となります。
前期・通年科目申請単位数で、すでに「年間所定の学費上限金額」に達しています。
そのため、後期科目申請単位数に関係なく、前期分・後期分とも所定の学費を適用します。
- 2) 前期に申請単位計算学費で納入した方
→後期学費は、下記の計算式で算出した、単位計算学費となります。
ただし、上記で算出した後期分の単位計算学費と前期納入済金額の合計が「年間所定の学費上限金額」に達した場合は、下記の計算式で算出した金額を適用します。

振込依頼書再発行のご依頼(未着、汚破損、紛失など)・納入必要予定額の確認は、財務部資金課にお問い合わせください。

財務部資金課 TEL.03-3409-6479(直通)

2014年度 公開講座

本学では、地域社会への貢献という使命から、大学における教育および研究の成果を広く社会に開放する公開講座を開催しています。各キャンパスでさまざまなテーマの講座を用意して皆様のご参加をお待ちしております。

青山キャンパス(渋谷区教育委員会共催)

10/4～11/1	毎週土曜日	全5回	宗教と学問
11/8～12/6	毎週土曜日	全5回	五感を総動員して比較芸術を学ぶ

■ 受講料 無料

詳細につきましては、大学ウェブサイト
(<http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/extension/>)をご覧ください。
庶務部庶務課 公開講座担当

相模原キャンパス(市民大学青山学院大学コース)

10/25～11/22	毎週土曜日	全5回	新時代をつくる発想と社会の変化
-------------	-------	-----	-----------------

- 対象 原則として相模原市・座間市に在住・在勤または在学の15歳以上の方(該当者を優先します)
- 申込期間 9月1日(月)～9月16日(火)必着
- 受講料 1,000円
- 問い合わせ先 さがまちコンソーシアム事務局 TEL.042-703-8550



第21回 青山学院大学同窓祭 AOYAMA GREEN FESTIVAL 2014

今年の青山学院大学同窓祭「AOYAMA GREEN FESTIVAL 2014」は、どなたでも無料でご入場いただけます! 会場内での買い物やイベントに参加される際は、「イーゴ券」が必要となります。

主催: 青山学院校友会大学部会 協力: 青山学院校友会、青山学院女子短期大学同窓会、青山学院高等部同窓会、中等部緑窓会、くすのき会、いとすぎの会

2014年 9月23日(火・祝) 10:00～17:00



前売 2,000円
(イーゴ券20枚綴り・福引抽選券1枚付)
当日売 1,000円
(イーゴ券10枚綴り・福引抽選券なし)

問い合わせ先: 青山学院大学同窓祭実行委員会事務局
[月～金 10:00～16:00]
TEL.03-3409-8990 <http://aogaku-doso.jp/>





青山学院エバーグリーン募金



青山学院大学の個性と特色を生かすために“オール青山”の精神で学生をサポート

使途指定型募金は、青山学院の歴史と伝統を継承しながらも、その個性と特色をさらに生かしていくために、教育・研究活動や在校生の諸活動を、“オール青山”の精神で支援していくことを目的とした新しい募金です。その特徴は、寄付者自らの思いを直接生かせるところにあり、ご寄付の使途を下記より選ぶことができます。

1

教育・研究活動支援

青山学院は「人間教育の再創造」をビジョンに掲げ、キリスト教教育の促進、教育力の向上、一貫教育の充実等に取り組んできました。ご寄付は、教育・研究活動、教育環境の整備、課外活動の充実のために用いさせていただきます。



2

国際交流活動支援

米国メソジスト監督教会の祈りと援助によって誕生した青山学院にとって、国際交流活動は長きにわたり教育の重要な柱でした。ご寄付は、国際交流のさらなる活性化と、グローバル人材育成のために用いさせていただきます。

《主な国際交流プログラム》

ASEAN協定校拡充、海外留学促進プログラム「留学フェア」、海外留学のための英語資格試験スコアアッププログラム、国際交流の場としてチャットルームの充実など



3

ボランティア活動支援

青山学院スクール・モットー「地の塩、世の光」の精神に立ち、在校生のボランティア活動を支援する募金です。

ご寄付は、国内外におけるボランティア活動支援のために充てさせていただきます。

《主なボランティア活動》

塩竈市・多賀城市の復興支援、フィリピン・シキホール島での教育支援など



4

スポーツ活動支援

体育会活動を支援するための募金です。強化指定部をはじめ、体育会各部を指定してのご寄付が可能です。

《主な体育会クラブ》

陸上競技部、男子バスケットボール部、硬式野球部、女子バレーボール部、ラグビー部他多数



- 皆様方からのメッセージを募集しています。青山学院への期待や在校生へのエールなどを右記メールアドレスまでお寄せください。
- 資料をご希望の方は、お送りいたしますのでご連絡ください。

資料請求
問い合わせ先

青山学院 エバーグリーン募金推進本部
TEL:03-3409-6208 FAX:03-3409-3890
Mail : bokin@aoyamagakuin.jp
<http://www.aoyamagakuin.jp/support/index.html>



青山学院 募金

検索

Club & Circle 23 手話部

楽しく活動しながらコミュニケーション能力を磨けます。

青山学院大学手話部は、男子10人、女子10人の合計20人で活動しています。

主な活動内容は、手話を使ったコミュニケーション能力の向上を目指して、語句を学んだり、実際に耳の不自由な方と手話を使って会話をしています。また、さまざまな大学から手話を学んでいる学生が集まる交流会にも参加。さらに、この6月からは、國學院大學手話部の方々を招いて、定期的な活動を合同で行っています。

より語彙力を高め、円滑なコミュニケーションを実現するために、手話技能検定に年2回挑戦しています。最近行われた「第40回手話技能検定」では、3級で3名、2級で1名の合格者を輩出することができました。

手話部はとてもアットホームで、ゆったりと自分のペースで活動でき、皆で集まれば仲良くにぎやかに部活動を行っています。特に、皆で行く合宿は本当に楽しく、前回は軽井沢で合宿を行いました。私にとっては一生の思い出になりました。

楽しく手話を学んでみたいという方、ぜひ、見学にいらしてください。

(部長：法学部法学科3年 香月 亜沙子 記)



AGUニュースについて

青山学院大学では、大学広報誌「AGUニュース」を発行し、在学生の保証人の方々に送付しています。また、在学生を対象としてキャンパス内AGUニュース専用スタンドにて配布しています。

本誌掲載の記事、写真、図版などの無断転載・複製を禁じます©2014青山学院大学

- AGUニュースのバックナンバーは、本学ウェブサイトでご覧いただけます。
- AGUニュースを確実に保証人の方々へお届けするため、住所が変更になった場合は、学生ポータルを利用し、学生本人が変更手続きをしてください。



発行元：青山学院大学 入学広報部
TEL. 03-3409-8627

● 2014年7月31日発行 ●